

仙北市学校施設長寿命化計画

(第1回改訂)

【概要版】

令和8年3月改訂
(令和3年3月策定)

秋田県仙北市教育委員会

— 目次 —

第1章 長寿命化計画改訂の背景・目的 P1

第2章 学校施設の目指すべき姿 P2

第3章 学校施設の実態 P2

第4章 学校施設の長寿命化計画の作成 P6

第5章 学校施設整備の基本的な方針等 P11

第1章 長寿命化計画改訂の背景・目的

1.1. 改訂の背景・目的

本市では、令和3年(2021年)3月の「仙北市学校施設長寿命計画」策定から5年が経過し、この間、インクルーシブ教育システムの理念を踏まえた施設環境の整備や防災機能の強化等学校施設に求められる水準は一層高まってきております。

さらに、建築資材や人件費の高騰および光熱費の上昇などといった社会的な変化による施設整備費の増大が大きな課題となっております。

また、全国的にも人口減少と児童生徒の大幅な減少が続いており、本市においても様々な施策を講じているものの歯止めのかからない状況が続いています。

このことから、将来を見通した学校統廃合等の基本的な考え方を示す「仙北市立小・中学校適正配置方針」を踏まえながら、前出の「仙北市学校施設長寿命化計画」を改訂し、中長期的な維持管理や更新等にかかるトータルコストの縮減および事業費の平準化を図るとともに、学校施設に求められる機能・性能を確保し本市の実情に合った実行可能な計画の策定を支援することを目的とします。

1.2. 計画期間

令和7年度(2025年度)を基準年とした令和27年度(2045年度)までの20年を基本とします。

なお、進捗状況のフォローアップ結果等を踏まえ、5年程度を目安に計画を更新することとします。

1.3. 計画対象施設

計画対象施設は、小学校5校(全6校の内、白岩小学校は、令和7年4月角館小学校と統合済)、中学校5校および総合給食センター1棟の他、小学校5校、中学校1校に付属するプール施設等とします。

第2章 学校施設の目指すべき姿

教育版基本理念：誰をも取り残さない教育
 未来の地域社会を支える意欲と高い志にあふれる仙北のこどもの育成を目指す

2.1. 学校施設の目指すべき姿

人口減少・少子化の影響により、さらに学校の小規模化が進み、教育環境に様々な課題が生じてきており、加えて多くの校舎で老朽化への対応が必要となってきました。

これらを踏まえ、以下の3つの視点により学校施設の目指すべき姿を定めます。

- (1) 安全・安心で快適な教育環境の確保
- (2) 学校施設の地域拠点としての機能の充実
- (3) 児童生徒数の推移を想定した施設整備

第3章 学校施設の実態

3.1. 対象施設一覧

表3-1 学校教育施設一覧表

令和7年現在

NO.	施設名	棟名	延床面積(m ²)	構造	建築年度	経過年数	耐震診断	耐震補強
1	生保内小学校	校舎	4,472	RC+W	S50	50	実施済	不要
		体育館	990	S	S53	47	実施済	実施済
2	西明寺小学校	校舎	3,629	W	H16	21	実施済	不要
		体育館	1,051	SRC	S62	38	実施済	不要
3	桧木内小学校	校舎	2,818	RC	H7	30	実施済	不要
		体育館	1,184	RC	H7	30	実施済	不要
4	角館小学校	校舎	6,687	RC	H18	19	実施済	不要
		体育館	1,306	RC	H18	19	実施済	不要
5	神代小学校	校舎	3,773	RC	H21	16	実施済	不要
		体育館	884	RC	H21	16	実施済	不要
6	神代中学校	校舎	3,055	RC	S51	49	実施済	実施済
		体育館	1,027	S	S54	46	実施済	実施済
7	西明寺中学校	校舎	2,633	RC	S55	45	実施済	不要
		体育館	693	S	S55	45	実施済	実施済
8	桧木内中学校	校舎	2,035	S	S56	44	実施済	不要
		体育館	675	S	S56	44	実施済	実施済
9	生保内中学校	校舎	3,847	RC	S60	40	実施済	不要
		体育館	1,027	S	S58	42	実施済	不要
10	角館中学校	校舎	6,489	RC	S59	41	実施済	不要
		体育館	2,227	S	S60	40	実施済	不要
11	総合給食センター		1,899	S	R1	6	不要	不要
延床面積合計			50,502	(総合給食センターを除く)				

経過年数30年以上
 経過年数40年以上

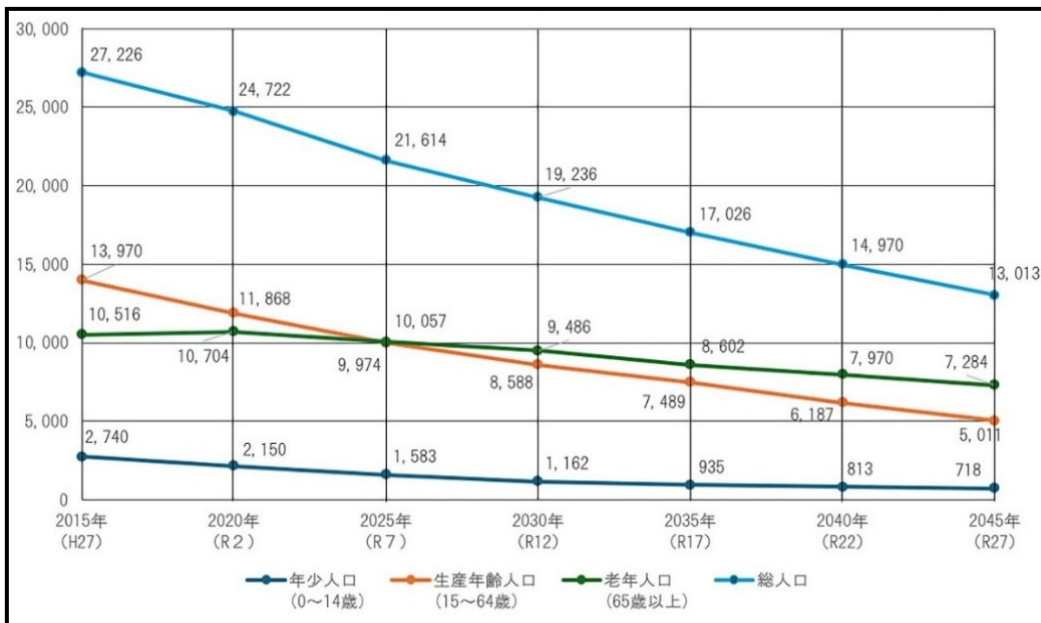
3.2. 仙北市の概況

3.2.1. 仙北市の人口の状況

令和7年(2025年)10月1日現在の本市の総人口は、21,614人であり、令和2年(2020年)の国勢調査時の24,722人から3,108人減少しています。

また、令和3年(2021年)3月の「仙北市学校施設長寿命化計画」策定時の25,084人より3,470人減少していることとなります。

図3-1 仙北市の人口推移



- ・ 国立社会保障・人口問題研究所推計
- ・ 「日本の地域別将来人口」 令和5年(2023年)推計
- ・ 「秋田県の人口」(秋田県年齢別人口流動調査報告書)

3.2.2. 各校区内の人口分布と将来推計

(1) 校区別人口推移

表3-2 校区別人口推移

校区		2019年 (R1)	2023年 (R5)	2031年 (R13)	2039年 (R21)	増減率 (2019-2039)
小学校	中学校					
角館中学校	角館中学校	12,049	11,058	9,089	7,391	-38.7%
生保内小学校	生保内中学校	5,702	5,126	3,969	3,013	-47.2%
神代小学校	神代中学校	4,159	3,802	3,008	2,348	-43.5%
西明寺小学校	西明寺中学校	2,586	2,366	1,860	1,409	-45.2%
桧木内小学校	桧木内中学校	1,803	1,546	1,090	739	-59.0%
全市		26,299	23,898	19,016	14,900	-43.3%
15歳未満人口		2,383(R2)	2,040(R7)	1,767(R12)	1,400(R22)	-41.3%

角館地区：角館地区、中川地区、雲沢地区、白岩地区
 生保内地区：生保内地区、田沢地区
 神代地区：神代地区
 西明寺地区：西明寺地区
 桧木内地区：桧木内地区、上桧木内地区

※「2023年度(R5年度)仙北市人口ビジョン(別冊)」をベースに集計

3.3. 現地調査

目視調査結果による劣化・不具合の状況を以下に示します。

3.3.1. 劣化・不具合の状況と目視調査の結果





(1) 小学校（現地写真例：全5校の内1校 西明寺小学校）

【西明寺小学校】

【校舎棟】【屋内運動場棟】 内部	階数 1F	室名	普通教室、WC(北側)、保健室前廊下、図工室・生活科室、廊下、ランチルーム、渡り廊下、ワークホール他、屋内運動場
<ul style="list-style-type: none"> ・普通教室(全般): 椅子引きずり痕・キズ・塗膜等経年劣化 ・廊下(保健室前): 床一部音鳴り(根太落ち) ・渡り廊下(西側): 窓廻り牆板塗装劣化 			
<ul style="list-style-type: none"> ・アリーナ部天井: 全面的に雨漏り痕 			
			
		廊下(保健室前)	普通教室全般
			
		体育館天井	

(2) 中学校（現地写真例：全5校の内1校 西明寺中学校）

【西明寺中学校】

【校舎棟】【屋内運動場棟】 内部	階数 1F	室名	理科室、放送室、技術室、昇降口
<p>・理科室：床ひび割れ ・放送室、技術室：天井雨漏り痕 ・昇降口：棚板塗装の剥離</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p data-bbox="1098 629 1410 678">理科室 床シートひび割れ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p data-bbox="225 1070 478 1115">放送室 天井雨漏り跡</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p data-bbox="683 1070 925 1115">技術室 天井雨漏り跡</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p data-bbox="1091 1070 1382 1115">昇降口 棚板塗装剥離</p> </div> </div>			

【西明寺中学校】

【校舎棟】 内部	階数 2F	室名	普通教室、図書室、音楽室、階段室
<p>教室：床材撓み ・図書室：天井雨漏り跡 ・音楽室：天井欠損、膳板塗装劣化 ・階段室：床材剥がれ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p data-bbox="655 1653 940 1697">普通教室 床スラブ撓み</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p data-bbox="1107 1653 1356 1697">図書室 天井雨漏り痕</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p data-bbox="217 1989 512 2033">音楽室 天井ホト欠損</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p data-bbox="683 1989 932 2033">音楽室 膳板塗装劣化</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p data-bbox="1129 1989 1331 2033">階段室 床剥がれ</p> </div> </div>			

第4章 学校施設の長寿命化計画の作成

4.1. 長寿命化改修等の優先順位の設定

■ 第1段階において、築年数を降順に並び替え、優先順位をつけると表4-1のとおりとなります。

表4-1 築年数順による優先順位(第1段階)

優先順位	建物基本情報										構造躯体の健全性					劣化状況評価					
	学校調査番号	施設名	R31建物用途	構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)	
							西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)							試算上の区分
1	1718	生保内小	校2	RC	2	1,800	1975	S50	50	旧	済	-	H30	22	長寿命	C	D	C	C	C	31
2	4714	神代中	校	RC	2	3,055	1976	S51	49	旧	済	済	H19	27	長寿命	D	D	D	C	D	14
3	1718	生保内小	体	S	1	990	1978	S53	47	旧	済	済	-	-	長寿命	C	C	C	B	B	49
4	1718	生保内小	校1	RC	2	2,950	1979	S54	46	旧	済	-	H30	30	長寿命	C	D	C	C	C	31
5	4714	神代中	体	S	1	1,027	1979	S54	46	旧	済	済	-	-	長寿命	C	D	C	C	C	31
6	4761	西明寺中	校	RC	2	2,638	1980	S55	45	旧	済	-	R1	22	長寿命	C	C	D	C	C	29
7	4761	西明寺中	体	RC	1	700	1980	S55	45	旧	済	済	H16	22	長寿命	C	C	C	C	C	40
8	4762	絵木内中	校	RC	2	1,832	1981	S56	44	旧	済	-	R1	25	長寿命	C	C	C	C	C	40
9	4762	絵木内中	体	S	1	878	1981	S56	44	旧	済	済	H17	29	長寿命	C	C	C	B	B	49
10	4711	生保内中	体	S	1	1,027	1983	S58	42	新	済	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
11	4681	角館中	校	RC	3	6,489	1984	S59	41	新	済	-	R2	48.2	長寿命	C	B	B	B	B	72
12	4711	生保内中	校	RC	3	3,847	1985	S60	40	新	済	-	R1	20	長寿命	C	C	B	B	B	62
13	4681	角館中	体・武	S	2	2,227	1985	S60	40	新	済	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
14	1761	西明寺小	体	RC	2	1,096	1987	S62	38	新	済	-	-	-	長寿命	C	B	C	B	B	59
15	1762	絵木内小	校	RC	2	2,780	1995	H7	30	新	済	-	R1	22	長寿命	B	C	C	B	B	52
16	1762	絵木内小	体	S	1	1,036	1995	H7	30	新	済	-	-	-	長寿命	B	B	A	B	B	84
17	1761	西明寺小	校	W	2	3,584	2004	H16	21	新	済	-	R1	36	長寿命	C	B	C	B	B	59
18	1688	角館小	校	RC	3	6,687	2006	H18	19	新	済	-	R1	40	長寿命	B	C	B	B	B	65
19	1688	角館小	体	RC	2	1,306	2006	H18	19	新	済	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65
20	1717	神代小	校	RC	2	3,978	2009	H21	16	新	済	-	R1	50	長寿命	B	C	C	B	B	52
21	1717	神代小	体	RC	1	884	2009	H21	16	新	済	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65
22		総合給食センター	体	S	1	1,899	2019	R元	6	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100

※1) 校:校舎, 体:体育館, 武:武道場を示す

■ 第2段階において、過去に大規模改修工事等を行っている建物は実施時期に応じて順位をつけると表4-2となります。

表4-2 過去の大規模改修の実施時期を考慮した順位(第2段階)

優先順位	第一段階順位	建物基本情報										構造躯体の健全性					劣化状況評価					
		学校調査番号	施設名	R31建物用途	構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)	
								西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)							試算上の区分
1	1	1718	生保内小	校2	RC	2	1,800	1975	S50	50	旧	済	-	H30	22	長寿命	C	D	C	C	C	31
2	2	4714	神代中	校	RC	2	3,055	1976	S51	49	旧	済	済	H19	27	長寿命	D	D	D	C	D	14
3	3	1718	生保内小	体	S	1	990	1978	S53	47	旧	済	済	-	-	長寿命	C	C	C	B	B	49
4	4	1718	生保内小	校1	RC	2	2,950	1979	S54	46	旧	済	-	H30	30	長寿命	C	D	C	C	C	31
5	5	4714	神代中	体	S	1	1,027	1979	S54	46	旧	済	済	-	-	長寿命	C	D	C	C	C	31
6	6	4761	西明寺中	校	RC	2	2,638	1980	S55	45	旧	済	-	R1	22	長寿命	C	C	D	C	C	29
7	7	4761	西明寺中	体	RC	1	700	1980	S55	45	旧	済	済	H16	22	長寿命	C	C	C	C	C	40
8	8	4762	絵木内中	校	RC	2	1,832	1981	S56	44	旧	済	-	R1	25	長寿命	C	C	C	C	C	40
9	9	4762	絵木内中	体	S	1	878	1981	S56	44	旧	済	済	H17	29	長寿命	C	C	C	B	B	49
10	10	4711	生保内中	体	S	1	1,027	1983	S58	42	新	済	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
11	11	4681	角館中	校	RC	3	6,489	1984	S59	41	新	済	-	R2	48.2	長寿命	C	B	B	B	B	72
12	12	4711	生保内中	校	RC	3	3,847	1985	S60	40	新	済	-	R1	20	長寿命	C	C	B	B	B	62
13	13	4681	角館中	体・武	S	2	2,227	1985	S60	40	新	済	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
14	14	1761	西明寺小	体	RC	2	1,096	1987	S62	38	新	済	-	-	-	長寿命	C	B	C	B	B	59
15	15	1762	絵木内小	校	RC	2	2,780	1995	H7	30	新	済	-	R1	22	長寿命	B	C	C	B	B	52
16	17	1761	西明寺小	校	W	2	3,584	2004	H16	21	新	済	-	R1	36	長寿命	C	B	C	B	B	59
17	18	1688	角館小	校	RC	3	6,687	2006	H18	19	新	済	-	R1	40	長寿命	B	C	B	B	B	65
18	19	1688	角館小	体	RC	2	1,306	2006	H18	19	新	済	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65
19	20	1717	神代小	校	RC	2	3,978	2009	H21	16	新	済	-	R1	50	長寿命	B	C	C	B	B	52
20	21	1717	神代小	体	RC	1	884	2009	H21	16	新	済	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65
21	16	1762	絵木内小	体	S	1	1,036	1995	H7	30	新	済	-	-	-	長寿命	B	B	A	B	B	84
22	22		総合給食センター	体	S	1	1,899	2019	R元	6	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100

※1) 校:校舎, 体:体育館, 武:武道場を示す

■ 第3段階では、表4-3のとおり総合劣化度を基に、施設の重要度(I:校舎、II:屋内運動場、III:その他)を考慮した個別施設の優先度を1~6に区分し、施設別の整備優先順位表(表4-4)を設定します。

表4-3 総合劣化度を基準とした保全優先順位(第3段階)

優先順位	第二段階順位	建物基本情報										構造躯体の健全性				劣化状況評価					総合劣化度	備考		
		学校調査番号	施設名	建物用途	構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備			健全度(100点満点)	
								西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)									試算上の区分
1	2	4714	神代中	校	RC	2	3,055	1976	S51	49	旧	済	済	H19	27	長寿命	D	D	D	C	D	14	135	
2	1	1718	生保内小	校2	RC	2	1,800	1975	S50	50	旧	済	-	H30	22	長寿命	C	D	C	C	C	31	119	
3	4	1718	生保内小	校1	RC	2	2,950	1979	S54	46	旧	済	-	H30	30	長寿命	C	D	C	C	C	31	115	
4	6	4761	西明寺中	校	RC	2	2,638	1980	S55	45	旧	済	-	R1	22	長寿命	C	C	D	C	C	29	116	
5	5	4714	神代中	体	S	1	1,027	1979	S54	46	旧	済	-	-	-	長寿命	C	D	C	C	C	31	115	
6	7	4761	西明寺中	体	RC	1	700	1980	S55	45	旧	済	済	H16	22	長寿命	C	C	C	C	C	40	105	
7	8	4762	桧木内中	校	RC	2	1,832	1981	S56	44	旧	済	-	R1	25	長寿命	C	C	C	C	C	40	104	
8	3	1718	生保内小	体	S	1	990	1978	S53	47	旧	済	-	-	-	長寿命	C	C	C	B	B	49	98	R3 屋根改修
9	9	4762	桧木内中	体	S	1	878	1981	S56	44	旧	済	済	H17	29	長寿命	C	C	C	B	B	49	95	
10	14	1761	西明寺小	体	RC	2	1,096	1987	S62	38	新	済	-	-	-	長寿命	C	B	C	B	B	59	79	
11	15	1762	桧木内小	校	RC	2	2,780	1995	H7	30	新	済	-	R1	22	長寿命	B	C	C	B	B	52	78	
12	10	4711	生保内中	体	S	1	1,027	1983	S58	42	新	済	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	67	
13	11	4681	角館中	校	RC	3	6,489	1984	S59	41	新	済	-	R2	48.2	長寿命	C	B	B	B	B	72	69	
14	12	4711	生保内中	校	RC	3	3,847	1985	S60	40	新	済	-	R1	20	長寿命	C	C	B	B	B	62	78	
15	13	4681	角館中	体・武	S	2	2,227	1985	S60	40	新	済	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	65	
16	20	1717	神代小	体	RC	1	884	2009	H21	16	新	済	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65	51	R3 屋根改修
17	21	1762	桧木内小	体	S	1	1,036	1995	H7	30	新	済	-	-	-	長寿命	B	B	A	B	B	84	46	R元 大規模改修
18	16	1761	西明寺小	校	W	2	3,584	2004	H16	21	新	済	-	R1	36	長寿命	C	B	C	B	B	59	62	
19	17	1688	角館小	校	RC	3	6,687	2006	H18	19	新	済	-	R1	40	長寿命	B	C	B	B	B	65	54	
20	18	1688	角館小	体	RC	2	1,306	2006	H18	19	新	済	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65	54	
21	19	1717	神代小	校	RC	2	3,978	2009	H21	16	新	済	-	R1	50	長寿命	B	C	C	B	B	52	44	
22	22		総合給食センター	S	1	1,899	2019	R元	6	新	-	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	6	

※1) 校:校舎, 体:体育館, 武:武道場を示す

表4-4 施設別の整備優先順位表(文部科学省 学校施設の長寿命化計画に係る解説書 付属ツールによる)

		総合劣化度と施設重要度による施設別の保全優先度					
		総合劣化度					
		I (100点以上)	II (80点以上100点未満)	III (60点以上80点未満)	IV (60点未満)		
施設重要度	I (高)	校舎	神代中学校 49 (135) 生保内小学校2 50 (119) 生保内小学校1 46 (115) 西明寺中学校 45 (116) 桧木内中学校 44 (104) 優先度 1	優先度 2	桧木内小学校 30 (78) 生保内中学校 40 (78) 角館中学校 41 (69) 神代小学校 16 (64) 西明寺小学校 21 (62) 優先度 3	角館小学校 19 (54) 優先度 4	
		II (中)	校舎	神代中学校 46 (115) 西明寺中学校 45 (105) 優先度 2	生保内小学校 47 (98) 桧木内中学校 44 (95) 優先度 3	西明寺小学校 38 (79) 生保内中学校 42 (67) 角館中学校 40 (65) 優先度 4	角館小学校 19 (54) 神代小学校 16 (51) 桧木内小学校 30 (46) 優先度 5
			屋体	角館小学校(フ) 49 (106) 西明寺小学校(フ) 49 (106) 優先度 3	優先度 4	優先度 5	生保内小学校(フ) 29 (54) 総合給食センター 6 (6) 優先度 6
III (低)	※その他						
施設数		9 (内プール施設 2)	2 (プール施設 0)	8 (内プール施設 0)	6 (内プール施設 1、) 総合給食センター1)		
合計		25 (内プール施設 3、総合給食センター1)					

※その他:学校プール施設(プール本体・管理棟)、総合給食センター

4.2. 整備優先順位に従った今後5期間(整備計画1期目～整備計画5期目)の整備計画

今後5期間(整備計画1期目～整備計画5期目)の整備計画シミュレーション(表4-5・図4-2)を作成します。

表4-5 今後5期間(整備計画1期目～整備計画5期目)の整備計画シミュレーション

(百万円)

事業名称	整備計画1期目		整備計画2期目		整備計画3期目		整備計画4期目		整備計画5期目		
	学校・棟名	事業費	学校・棟名	事業費	学校・棟名	事業費	学校・棟名	事業費	学校・棟名	事業費	
施設整備費	長寿命化改修	神代中(校舎) 733	生保内小(校舎1・2) 1,140	西明寺中(校舎) 633	桜木内中(校舎) 440	西明寺中(屋体) 168	神代中(屋体) 246	生保内小(屋体) 238			
	予防改修	桜木内小(校舎) 278	—	—	西明寺小(校舎) 358	—	—	角館小(校舎) 668			
維持補修費	全市1施設当たり平均	22	全市1施設当たり平均	22	全市1施設当たり平均	22	全市1施設当たり平均	22	全市1施設当たり平均	22	
需用費(光熱水費・修繕費その他)	全市1施設当たり平均	16	全市1施設当たり平均	16	全市1施設当たり平均	16	全市1施設当たり平均	16	全市1施設当たり平均	16	
計		1,049		1,178		1,029		724		1,112	
今後5年間の合計										5,092	1,018/年

(維持補修費、需用費(光熱水費・修繕費その他)は過去5年間の施設整備費の平均額とする。)

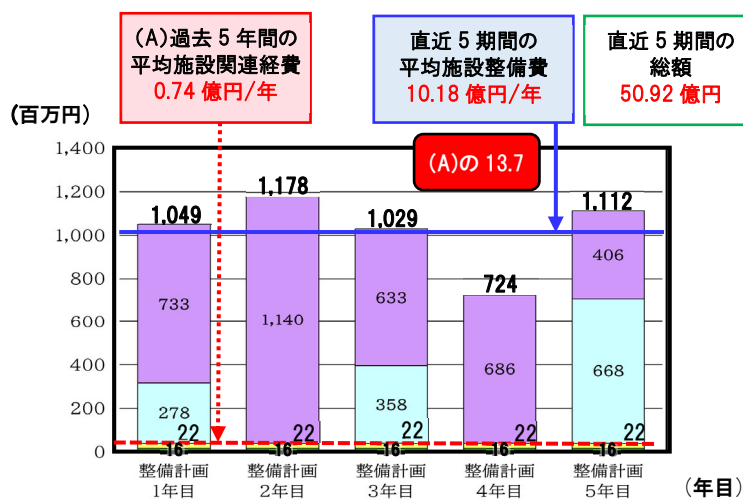


図4-2 今後5期間の整備計画コストシミュレーション

4.2.1. 長寿命化の効果

表4-6に示すとおり、従来型のコストは、今後40年間で約281.8億円、年平均では約7.04億円となり、長寿命化型は、40年間の総額で約250.4億円、年平均では6.26億円で、従来型と比較して40年間で約31.4億円が縮減され、年平均では約0.78億円の事業費削減が見込まれます。

表4-6 コスト比較表

整備計画	平均年間事業費	計画期間	総事業費
施設関連経費(過去5年の平均)	0.74億円/年	—	—
従来型の施設整備	7.04億円/年	40年	281.8億円
長寿命化改修	6.26億円/年	40年	250.4億円

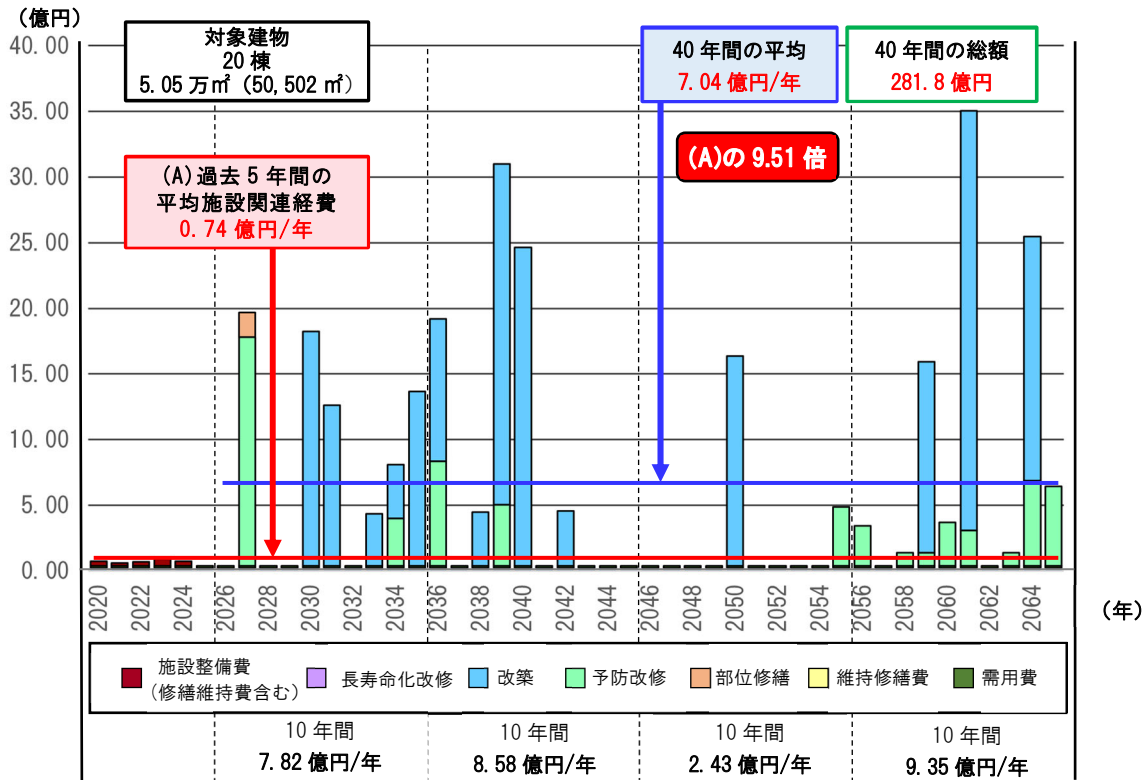


図 4-3 今後の維持・更新コスト（従来型）シミュレーション

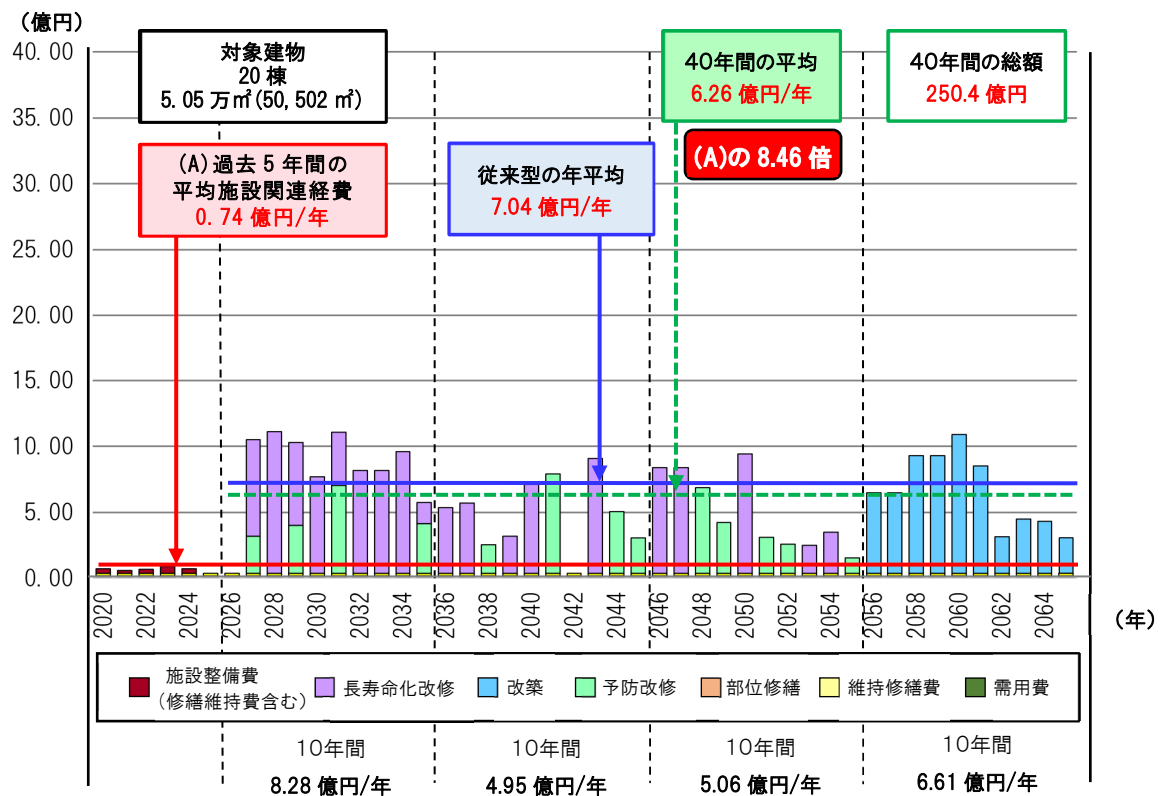


図 4-4 今後の維持・更新コスト（長寿命化型－予防保全）シミュレーション

4.5. 維持更新の課題と今後の方針について

長寿命化を行った場合、40年間の総額では、従来型に比べ約31.4億円が縮減され、それでも過去の施設関連経費(約0.74億円)と比較すると年あたり8.46倍の経費が掛かることとなります。特に今後の維持更新コストを10年単位で見えていくと令和9年度(2027年度)から令和18年度(2036年度)の直近10年間におけるコストが約83億円と多額のコストが見込まれていることが課題となります。

そのため、今後、本計画の見直し(概ね5年ごと)を行っていく過程で更なる維持管理コストの縮減と平準化に努める必要があります。

本市では、もとより竣工年度が集中しているという課題があり、長寿命化を実施したとしても、令和38年度(2056年度)以降に改築が集中するという時期が見込まれます。

さらに、40年間の更新費用の見通しも過去5年間の施設関連経費の実績から比べると乖離が大きく、長寿命化や予防保全の対策だけでは限界があります。今後、中長期的な整備コストの縮減を図るためには施設の保有量の整理が望ましい状況にあり、財政状況や子どもたちの教育環境の在り方を考慮するとともに、児童生徒数の推移を注視しながら、施設の適正規模・適正配置等について併せて検討していく必要があります。

第5章 学校施設整備の基本的な方針等

5.1. 将来の学校施設の在り方および少子化に伴う施設の検討

今後、少子化に伴う児童生徒数の減少だけではなく、市全体の人口減少および高齢化が進む中で、教育施設等をこれまでと同様の手法で整備していくことは次第に困難な状況となることが予測されます。

5.2. 長寿命化改修計画との連携(減築・複合化・まちづくりとの関連)

学校の長寿命化改修事業の際には、単に施設の更新を図るだけではなく、「減築」等、学校施設の規模を新たに設定するなど、今後は、老朽化対策による優先度に加え、余剰スペース等の利活用として他施設との「複合化」等についても検討すべきと考えます。その際には、まちづくりと連動した学校づくりの視点も必要になるものと思われます。

5.3. 仙北市の動き ～「仙北市立小・中学校適正配置計画」策定まで～

仙北市では、平成29年(2017年)3月に「仙北市公共施設等総合管理計画」が策定され、令和6年(2024年)3月に「仙北市立小・中学校適正配置計画」(骨子案)が、翌令和7年(2025年)3月には同素案を策定し、令和8年3月19日「仙北市立小・中学校適正配置計画」が策定され、具体的な実施計画として下記のとおり示しています。

【4 具体的な実施計画】

今後の児童生徒数は、小学校は令和12年度、中学校は令和18年度まで予測(3ページ参照)できますが、近年の出生数の減少傾向を考慮すると、その後も更に減少する可能性があり、「3(2)望ましい学校規模」を確保するためには、学校の再編は避けられません。

再編にあたっては、教育環境の充実を第一としつつ、通学・課外活動への影響や管理運営面での効率性なども含め多角的に検討し、保護者をはじめ市民の意見を十分に踏まえたものとします。また、学校再編に合わせ、通学区域の見直しを図ります。

なお、再編は、本計画の策定から概ね10年先まで継続できる形を目指して行い、それ以降の適正配置のあり方については、児童生徒数の推移や様々な状況変化等に応じ、改めて検討することとします。

また、これに関わらず中学校については、学区外への就学指定校変更等を希望する傾向が顕著に表れたり、複式学級の発生が予想されたりする場合には、統合の検討に入ることとします。

(1) 学校再編の基本的な考え方(小・中学校共通)

- ① 通学負担の軽減に配慮する。
- ② 比較的新しい既存校舎の有効活用を優先的に検討する。
- ③ スポ少・部活動等の活動環境に配慮する。

5.3.1. 学校再編の具体的内容

(1) 仙北市立小・中学校適正配置計画において

本市では、仙北市立小・中学校適正配置計画において、小学校は、神代・西明寺・桧木内の3校を統合し、一方、これまで調整課題となっていた中学校統合の組み合わせについては、生保内中学校を単独で存続し、小学校同様、神代・西明寺・桧木内の3校を統合する方針(表 5-1)としています。

表 5-1 小・中学校再編計画案

小学校			中学校		
学校	児童数	方針・備考	学校	生徒数	方針・備考
角館小学校	335	存続	角館中学校	247	存続
生保内小学校	145	存続	生保内中学校	84	存続
神代小学校	115	統合	神代中学校	60	統合 (桧木内中学校、令和9年度(2027年度)に西明寺中学校に編入の方針)
西明寺小学校	95		西明寺中学校	63	
桧木内小学校	38		桧木内中学校	16	
・廃校舎については、複数の公共建築物を集合させる「複合化」や1つの公共建築物に複数の機能を持たせる「多機能化」の実施を検討します。					

※ 児童数・生徒数は R7 年(2025 年)4 月 1 日現在

(2) 統合校の使用校舎

小・中学校の統合校について、各々使用校舎は築年数等を考慮し、表 5-2 のとおりとします。

表 5-2 統合時使用校舎案

	統合時 使用校舎	棟	建築年度	経過年数	設計・改修 工事(想定)	統合年度	検討事項・備考
小学校	西明寺小学校	校舎	H16(2004)	21 年	≒2 年	R10(2028)	・スクールバス ・自家用車送迎への補助 ・校名 ・校歌 ・通学体制 等
		体育館	S62(1987)	38 年			
中学校	神代小学校	校舎	H21(2009)	16 年	≒2 年	R11(2029)	
		体育館	H21(2009)	16 年			

※ 中学校の統合年度について・・・小学校統合後の中学進学時に、通学先が再度別れることがないようにする。

※ 経過年数については令和 7 年度現在

5.3.2. 学校再編を踏まえた今後概ね8期間の整備計画(整備計画Ⅰ期目～整備計画Ⅷ期目)

表5-1「小・中学校再編案」および表5-2「統合時使用校舎案」にもとづき、今後、概ね8期にわたる整備計画シミュレーション(表5-3・図5-1)を示しますが、再編後存続校舎および統合時使用校舎等の改修を主に、各期とも改修費用を概ね10億円を目途に検討します。しかし、「過去5年間の施設関連経費」の年平均約0.74億円と比較すると乖離が大きく、整備計画期間のさらなる延長を検討する必要があるものと考えます。

表5-3 今後8期間(整備計画Ⅰ期目～整備計画Ⅷ期目)の整備計画シミュレーション

(百万円)

年目 事業名称	整備計画Ⅰ期目		整備計画Ⅱ期目		整備計画Ⅲ期目		整備計画Ⅳ期目		整備計画Ⅴ期目		整備計画Ⅵ期目		整備計画Ⅶ期目		整備計画Ⅷ期目	
	学校・棟名	事業費	学校・棟名	事業費	学校・棟名	事業費	学校・棟名	事業費	学校・棟名	事業費	学校・棟名	事業費	学校・棟名	事業費	学校・棟名	事業費
施設整備費	長寿命化改修	生保内小(校舎2) 432	生保内小(校舎1-1) 400	生保内小(校舎1-2) 308 生保内小(屋体) 238	生保内中(校舎) 923	角館中(校舎-1) 780 生保内中(屋体) 246	角館中(校舎-2) 780	角館中(屋体) 534	—	—	—	—	—	—	—	—
	予防改修	西明寺小(校舎) 358	西明寺小(屋体) 110 神代小(校舎) 397	神代中(屋体) 246	—	—	—	—	—	—	—	—	角館小(屋体) 130	角館小(校舎) 668	—	—
維持補修費	全市1施設当たり平均 22	全市1施設当たり平均 22	全市1施設当たり平均 22	全市1施設当たり平均 22	全市1施設当たり平均 22	全市1施設当たり平均 22	全市1施設当たり平均 22	全市1施設当たり平均 22	全市1施設当たり平均 22	全市1施設当たり平均 22	全市1施設当たり平均 22	全市1施設当たり平均 22	全市1施設当たり平均 22	全市1施設当たり平均 22	全市1施設当たり平均 22	全市1施設当たり平均 22
需用費(光熱水費・修繕費その他)	全市1施設当たり平均 16	全市1施設当たり平均 16	全市1施設当たり平均 16	全市1施設当たり平均 16	全市1施設当たり平均 16	全市1施設当たり平均 16	全市1施設当たり平均 16	全市1施設当たり平均 16	全市1施設当たり平均 16	全市1施設当たり平均 16	全市1施設当たり平均 16	全市1施設当たり平均 16	全市1施設当たり平均 16	全市1施設当たり平均 16	全市1施設当たり平均 16	全市1施設当たり平均 16
計	828	945	830	961	1,064	818	702	706								
Ⅷ期間の合計	6,854 857/年															

(維持補修費、需用費(光熱水費・修繕費その他)は過去5年間の施設整備費の平均額とする。)

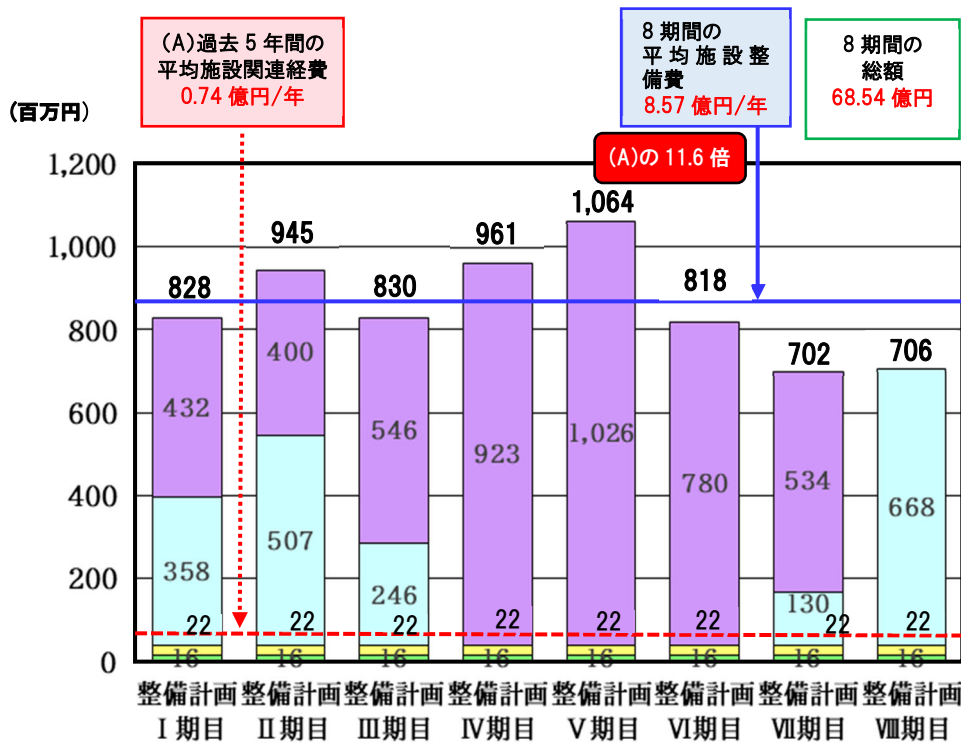


図5-1 今後8期間の整備計画コストシミュレーション

5.4. 今後の課題と検討

この度の計画改訂においても、従来型の改修に比べ、長寿命化型による改修が一定程度のコスト削減が図られました。

しかし、本市における過去の施設関連経費と比較すると乖離が大きく、既存施設1校ごとの改修工事ではなく、基幹校を設定しながら、施設の集約・整理(学校施設統合[※])による更なるコスト削減を検討します。

さらに、防災・減災・国土強靱化の推進および脱炭素化の推進を背景とした、避難所としての防災機能強化(トイレ・水飲み場の改修等)、高断熱化、LED照明、および高効率空調(特に、屋内運動場)などが求められていることから、本計画では、

- 課題1:小中一貫校等、学校施設統合によるコスト削減
(生保内中学校を基幹校とする生保内小学校との統合)
- 課題2:LED照明への交換
- 課題3:屋内運動場への空調設備の設置

について検討します。

※ 学校施設統合:小中一貫校(施設一体型)、義務教育学校(施設一体型)

5.4.1 各課題に対する検討案

(1) 課題1の「小中一貫校等、学校施設統合によるコスト削減」に関する検討

(例:生保内中学校を基幹校とする生保内小学校との統合)

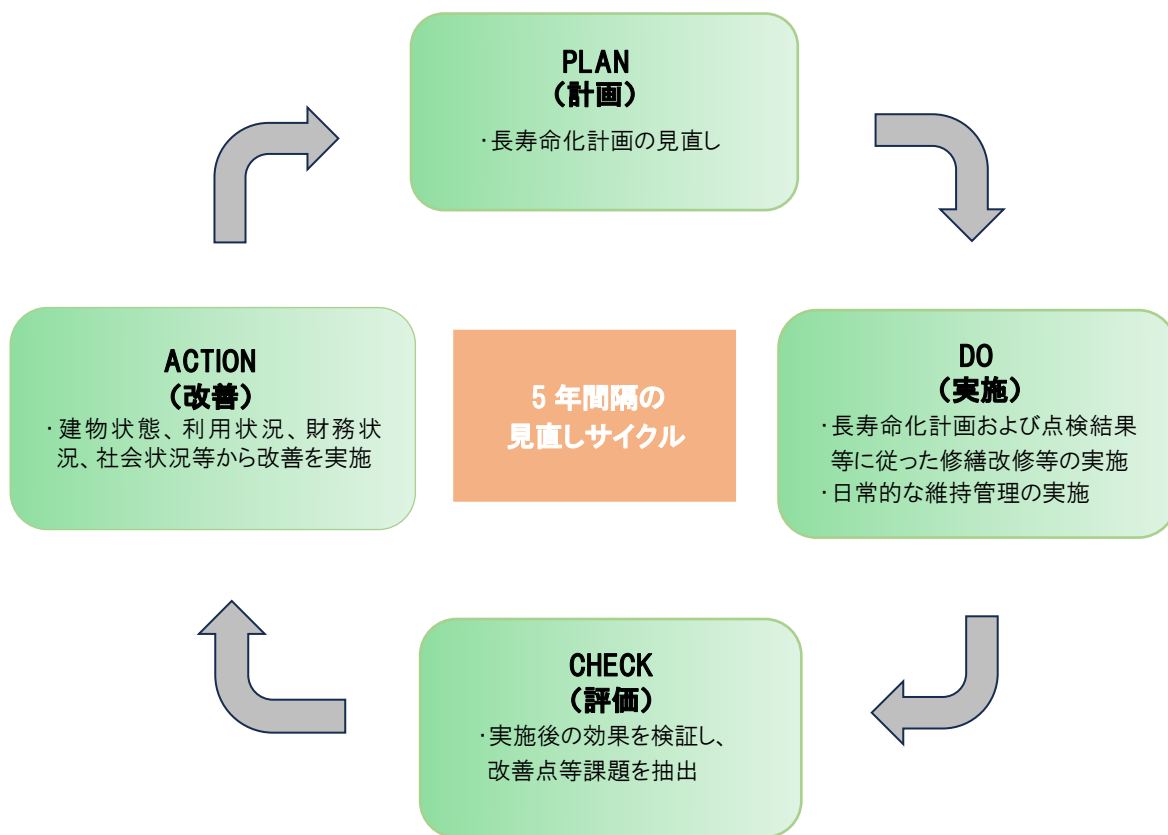
■『課題1についてのまとめ(概要)』

検討の結果、これまでの既存施設1校ごとの改修工事では、表5-3より、生保内小学校改修工事が13.78億円、生保内中学校の改修工事が11.69億円の総額25.47億円に対し、本検討案である、小中一貫校など、施設の集約・整理による改修では、基本的に、基幹校である生保内中学校1校分の改修工事費だけで良いこととなり、概ね生保内小学校分の13.78億円の事業費削減が見込まれます。

(2) 課題2(LED照明への交換についての検討)および課題3(屋内運動場の空調設備設置の検討)双方共、長寿命化改修工事等の中で十分に検討します。

5.5. フォローアップ

本計画は、令和7年度(2025年度)を基準年とした令和27(2045)年度までの20年を基本とした長期の計画であり、児童生徒数の推移、財政状況や学校を取り巻く環境の変化、地域の実情に配慮した適正規模・配置等に対応する必要があるため、5年間隔を目途にPDCAサイクルによるフォローアップを実施することとします。



PDCAサイクルの運用による進捗管理のイメージ

仙北市学校施設長寿命化計画
(第1回改訂)
(概要版)

令和8年3月改訂
(令和3年3月策定)

【編集・発行】

秋田県 仙北市教育委員会
〒014-0398 秋田県仙北市角館町上野18番地
TEL 0187-43-3382
FAX 0187-54-2112
E-mail kykanri@city.semboku.akita.jp
